

令和7年度府中市立若松小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）様式1

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（児童の学び方）

◎「4つの視点」を重視した授業デザイン

①学習への興味・関心・意欲をもたせる
(主体的な学び)

②対話を中心とした授業に慣れていく
(対話的な学び)

③課題解決をする力を付けさせる
(深い学び)

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

○「自ら考える」主体性の育成

- ・興味、関心を引き出す魅力的な導入
- ・課題解決型の学習計画 ・目標設定とふりかえりの工夫

○「思いやり」を育む学級集団づくり

- ・対話を中心とした授業デザイン
- ・個々の役割と目標に目を向ける学級活動

○心身ともにを目指す「たくましさ」

- ・教材研究の深化による体育授業の充実
- ・教科担任制による複数教員での多面的・多角的な児童理解と支援

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す児童の学びの姿

児童の主体性と粘り強さ (自己決定力を育む目標と役割) 土台となる「思いやり」と「対話」

- ・互いの尊重と協力による学び合い
- ・主体的な行動と対話
- ・粘り強さとチャレンジ精神をもつ
- ・互いに思いやる言葉掛け

(2) 目指す授業像

教師のファシリテーション力 (褒める、見通す、交流させる)

土台となる教師の「ゆとり」と「計画性」

- ・児童の主体性を引き出す力
- ・教師のサポートと児童相互の関わりを重視する姿勢
- ・ポジティブな雰囲気を創出する言葉掛け
- ・児童に見通しをもたせる教師の的確な計画性

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	児童それぞれに合ったワークシートや ICT 機器などを選んだり、課題に応じた方法を選んだりできるように「指導の個別化」を取り入れ、進んで学習に取り組むことができるようとする。 【決定】【表現】	音楽	技能の基礎基本を丁寧に指導する。「指導の個別化」を工夫し、主体的に演奏する楽しさを感じができるようとする。感性を働かせ、他者とかかわり合いながら音楽表現を生み出せるようとする。【表現】【対話】
算数	個別最適かつ発展的な学習に取り組み、問題（課題）解決型の学習活動を取り入れ、児童自ら課題を見出し、追究させる。また、デジタルドリル（学習履歴が残るもの）をさらに活用し、「学びの調整」に資するようとする。【発見】【決定】	図画工作	造形的な見方・考え方を働かせながら、表現や鑑賞の活動に取り組むために、感覚や行為を通して活動を意識して、形や色の特徴やイメージを広げられるようとする。【発見】【表現】
社会	教科書資料だけでなく、ICT 機器を活用し、写真や動画などの豊富な資料を提供することで資料活用の技能を高める。また、単元のまとめ方を児童に選択させることで児童の主体性を育んでいく。【発見】【決定】	家庭	生活の中で体験したこと、調べたことをまとめ発表し合う活動に、言語活動や ICT 機器を取り入れる。また、スマールステップで課題を設定し、段階的に学習を進められるようする。【発見】【対話】
理科	見通しをもって主体的に問題解決していくことができるようする。問題や予想と結果を照らし合わせ、児童が自分の考えを見直したり、観察や実験の方法を考えたりする学習活動を位置付ける。【発見】【決定】	体育	技能を習得させるために個の課題に適した場を設定したり、様々なツールを取り入れたりしながら児童一人一人の運動能力を伸ばしていく。【発見】【決定】
生活	身近な人々や自然と触れ合ったり関わったりすることができるよう、地域の生活環境を考慮し学習活動を選定する。学習したこととを言葉や絵などにまとめ、伝え合ったり交流したりする場を工夫して設ける。【表現】	外国語	楽しんで外国語に親しむことができるよう、ゲーム形式の活動を取り入れる。自信をもって自分の気持ちを伝えられるように、チャンツで練習を積んだ後、交流活動を行うなど展開を工夫する。【表現】【対話】

(2) 児童用タブレット端末の活用

④ ライブドリリーブラリを学校の授業や家庭学習で取り組ませ、学習ログから個々の学びの記録を把握する。把握した学習ログを分析し、授業改善につなげていく。調べ学習の際には、ブリタニカ百科事典やデジタル図書館を活用する。